

## 「TOMODACHI アフラック プログラム」 第2回目 (2014年) の派遣医師を募集 ～ 小児がん研究に携わる医師の米国留学助成制度 ～

アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社、日本における代表者・社長:外池 徹)は、日米交流事業「TOMODACHI イニシアチブ」(<http://usjapantomodachi.org>)の一環として2013年から展開している米国留学助成制度「TOMODACHI アフラック プログラム」における第2回目(2014年)の米国への派遣医師を募集します。なお、第1回目(2013年)で選出された聖路加国際病院小児科常勤嘱託医である細谷要介氏は、2013年8月から米国ジョージア州の「アフラックがん・血液病センター」に派遣されており、今回の派遣期間は2014年8月から6ヵ月間の予定です。

本プログラムの概要及び募集要領は、以下のとおりです。(細谷医師の活動レポート等は別紙参照)

### ◆<TOMODACHI アフラック プログラム>概要・募集要領

#### 【TOMODACHI イニシアチブとは?】

米国政府・米日カウンシルの主導のもと、東日本大震災後の復興を支援するとともに、長期にわたり日米間の文化的・経済的な結び付きを強化し、友好を深めるかたちで投資を行う官民によるパートナーシップ。

夢を持ち、その実現に向け計画を立て実行する日米の将来の世代、すなわち互いの文化や国を理解し、成功と社会への貢献に必要な世界中で通用する技能と国際的な視点を備え、日米関係の将来に深く関わる「TOMODACHI 世代」の育成を目指しています。

#### 【TOMODACHI アフラック プログラム】

目的	米国における最先端の小児がん研究の経験を通じ、日本での治療・研究に役立てる
対象者	小児がんの基礎、診断、治療等の研究に携わる日本在住の医師 (40歳未満)
概要	「アフラックがん・血液病センター」(米国ジョージア州アトランタ)に、日本在住の医師を1名、原則6ヵ月間派遣し、留学費用200万円を支給する(宿舍などに関する費用は別途支給)
応募受付	2014年1月10日(金)～2月28日(金)
派遣期間	2014年8月～2015年1月予定(原則6ヵ月)

※ 派遣医師の選考については、「日本小児血液・がん学会」の協力のもと、「TOMODACHI アフラック プログラム」選考委員会(委員長:小児血液・がん学会理事長 石井榮一氏)で行います。

#### 選考に関するお問い合わせ

【事務局】認定NPO法人ゴールドリボン・ネットワーク

〒161-0033 東京都新宿区下落合3-2-12 イルドルカン302号

月曜～金曜 10:00～16:00 TEL: 03-3952-2640

※応募要項・応募用紙はゴールドリボン・ネットワークホームページからダウンロード可能です。

当社は米国に本社を置く企業として、今後も日米両国に資するCSR活動に積極的に取り組んでいきます。

## 「TOMODACHI アフラック プログラム」活動レポート (2013 年)



### ◆細谷要介氏略歴

聖路加国際病院小児科医師。2002年3月に東北大学医学部卒業。  
日本赤十字社医療センター小児科研修医、国立成育医療研究センター総合診療部レジデント、同血液腫瘍科フェローを経て、2011年4月より現職。  
東京都出身。1975年生まれ。38歳。

### 【一日のスケジュール例】

- 7:00～9:00 教育レクチャー・研究成果報告会・  
全患者の検討会など
- 9:00～10:00 病棟回診
- 10:00～12:30 病棟カンファレンス
- 12:30～13:30 昼食
- 13:30～16:30 病棟回診
- 16:30～17:30 症例検討会



### 【TOMODACHI プログラムに参加して感じたこと】

アフラックがん・血液病センターは、米国でも有数の小児血液がんセンターで、外来受診者は一日100人以上、新規小児がん症例数は年間約400症例、造血幹細胞移植症例数は年間約60症例



にも上っています。経験豊富な医師とともに多くの患者と接するだけでも、日本の単一施設では考えられないほどのバラエティのある症例を多く経験することができます。また留学中に開催される学会、研究会などに参加することも可能です。今年には Children's Oncology Group の Annual Meeting やアメリカ血液学会、シンシナティ小児病院で行われた HLH Meeting に参加することができました。日々、貴重な経験をさせていただいていると実感しています。

### 【今後参加される方へのメッセージ】

臨床現場で多忙を極める小児科医が、半年という期間を確保するのは大変な事だと思います。しかし、このプログラムは、アメリカの小児血液・がん診療の現場に飛び込む絶好の、とてもユニークな機会です。また日米アフラックそして、がん・血液センターのスタッフによる強力なサポートもあります。是非、多くの若手医師たちに参加を検討していただきたいと思います。

